

MYA

[一覧に戻る](#)

冷間テスト

ストーブは停止中でないといけません

Menùボタンを2秒間押してください

「-」ボタンを押すと Menù Serviceと表示されます。Mボタンを押して Menù Test I/O と表示させます。

Menùボタンを押すと 0 が表示されます。

"-13"が表示されるまで-マイナスボタンを押します。

Menù ボタンを押して確認すると CO: menù testが表示されます。

+ プラス又は -マイナスボタンを使ってパラメーター内容を移動します。

0/1ボタンを2回押すとともに戻ります。

中央ボタンを2回押してテストメニューから出ます。

冷間メニュー

C1:Start resist		点火ヒーターが着き先が赤くなる。
C2:Expulsion Fan		排気ファンが最高回転で回転します。
C3:Load pellet	Cor. ... Err. C22	燃料モーターが回転します。吸収している電流の状態を表示します。 Err. C11 = 電流低い Err. C22 = 電流範囲内 Err. C33 = 電流高い
C4:On Fan		温風ファンが最高回転で回転します。
C5:Thermocoup		排気温度センサーの温度を測ります。+オートチェック
C6:Air Flow		給気の流入センサーの数値を示します。 セット数値よりも低いとアラームが出ます。 もし問題なく設置されていたら2. 0を超えます。
C7:Sensor Temp.		室温の温度を測定します。
C8:PA...Vacuomet		30秒後 負圧テスト"Test...Pascal" の数値が表れます。最低が50で最高が150超えるとアラームが出ます。
C9:Test Sonda I/R		
C10:Aux		

パラメーター調節方法

停止中、点火中または運転中にも設定できます。

Mボタンを1回押してリモコンを点灯させます。

Mボタンを数秒間押し続けます。

「-」ボタンを押すと Menù Serviceと表示されます。Mボタンを押して Menù Test I/O と表示させます。

「-」ボタンを押すとSETUPと表示されます。

Mボタンを押して password: 0 を表示させます。

マイナスボタンを使用して "-13"を表示させます。

M ボタンを押して確認します。

一番最初のパラメーターが出ます。

ストーブが停止中はRESET SETUPが表示されます。運転中はLANG. ENGLISHと表示されます。

Mボタンを押してパラメーター表を順に降りていきます。もとに戻るにはAボタンを押すと戻ります。

パラメーターの各数値を変更するには + と -ボタンを押します。

0/1ボタンでパラメーターから元へ戻ります。

パラメーター	値	パラメータの説明	単位	備考
Reset Setup	0	コード11を入力によってパラメーターは出荷時にリセットされます。	//	
Lang.	ENGLISH	言語の選択	//	
check-up-input	//	各温度センサーの制御-レオナルドシステム((pascal,Pa)+アラーム リストの表示- 煙気速度-給気流量-連続番号-日時ブロックタイプ	//	自動設定
MAIN HZ	//	50Hzまたは60Hzの電源周波数を自動調節	Hz	
T. BOARD	//	温度制御盤	°C	
PASCAL	//	燃焼室内の圧力	Pa	
Cor. ... Err. C22	//	燃料搬送オーガモーターの消費電流		
matematiche Leonardo	//	レオナルド・システムによる計算数値	//	変更できません
ID scheda	//	出荷時コード		変更できません
TEMP CONS.	ON	無線制御による室温検知の選択		
BUZZER CONS.	OFF	リモコン温度転送時ブザー音のON/OFF	//	ONであればリモコンが温度を検知するたびブザー音が鳴ります。
T.CON.S.	//	リモコンで読み取る温度		
RADIO °C CHECK	30	TEMP CONS.ON: 設定時間内にリモコンの温度センサーから受信されない場合に自動的に火力P1に切り替える。	minuti	
PELLET AUT.		レオナルド・システムによって計算された数値を表示		変更できません
LIVELLO SEGNALE		リモコンとストーブとの間の無線信号レベル		
Air P1	25	火力P1時の排気量回転数	g/s	レオナルドシステムがOFFの場合 炎の立ち上がりがなく色が赤黒く失火しそうな場合、各数値を最大で4ずつ上げてください。
Air P2	26	火力P2時の排気量回転数	g/s	
Air P3	28	火力P3時の排気量回転数	g/s	
Air P4	30	火力P4時の排気量回転数	g/s	
Air P5	32	火力P5時の排気量回転数	g/s	
Air AC	30	点火第一段目の排気ファン回転数	g/s	着火までに時間がかかり煙が多い場合は数値を最大で2上げてください。
Air Ar	35	点火第二段階目の排気ファン回転数	g/s	燃焼ポットに多くのペレットが残っている場合は数値を最大で2上げてください。
Air PW	40	warmup中の排気ファン回転数	g/s	この段階は各段階の間に挟まれて行われます。
Air Flow	0.8	給気流量センサー閾値	V	給気流量センサーOFFの場合、リモコンのディスプレイにPOWER PL(自己調節なしのP1のような状態)と表示
Fan P1	20	火力P1時の温風ファン回転数	%	ストーブの異常加熱しないよう慎重に調整を行ってください。使用状況によって異なる場合がありますのでご注意ください。
Fan P2	40	火力P2時の温風ファン回転数	%	
Fan P3	60	火力P3時の温風ファン回転数	%	
Fan P4	80	火力P4時の温風ファン回転数	%	
Fan P5	100	火力P5時の温風ファン回転数	%	

Fan PW	50	Warmup時の温風ファン回転数	%	ストーブの異常加熱しないよう慎重に調整を行ってください。使用状況によって異なる場合がありますのでご注意ください。
Fan OFF	50	温風ファンOFFの割合	%	
START FAN	100	温風ファン起動排気温度	°C	
Pellet P1	15	火力P1時のペレット供給量の割合	%	AUTO regがOFFの場合適用されます。モータが10秒周期毎2秒間稼働にすることを意味します(20%)
Pellet P2	22	火力P2時のペレット供給量の割合	%	
Pellet P3	28	火力P3時のペレット供給量の割合	%	
Pellet P4	35	火力P4時のペレット供給量の割合	%	
Pellet Ac	16	第一段階目のペレット供給量の割合(着火段階)	%	
Pellet Ar	18	第二段階目のペレット供給量の割合(炎の安定化)	%	
Pellet PW	30	warmup中のペレット供給量の割合	%	
Pellet P1H	18	火力P1時のペレット供給量上限値	%	
Pellet P2L	20	火力P2時のペレット供給量下限値	%	
Pellet P2H	25	火力P2時のペレット供給量上限値	%	
Pellet P3L	26	火力P3時のペレット供給量下限値	%	
Pellet P3H	32	火力P3時のペレット供給量上限値	%	
Pellet P4L	28	火力P4時のペレット供給量下限値	%	
Pellet P4H	40	火力P4時のペレット供給量上限値	%	
Pellet P5L	30	火力P5時のペレット供給量下限値	%	
Pellet P5H	44	火力P5時のペレット供給量上限値	%	
TempTest 1	130	火力P1時の排気温度目標値	°C	
Temp Test 2	160	火力P2時の排気温度目標値	°C	
Temp Test 3	185	火力P3時の排気温度目標値	°C	
Temp Test 4	230	火力P4時の排気温度目標値	°C	
Temp Test 5	245	火力P5時の排気温度目標値	°C	
AUTO reg	ON	AUTO regのON/ OFF		目標温度(温度試験)に従って調整される(ON時)
Time Reg. P1	50	火力P1時の補正間隔時間	s	
Time Reg. P2	60	火力P2時の補正間隔時間	s	
Time Reg. P3	70	火力P3時の補正間隔時間	s	
Time Reg. P4	80	火力P4時の補正間隔時間	s	
Time Reg. P5	90	火力P5時の補正間隔時間	s	
Air 1 Low	25	火力P1時の排気ファン回転数下限値	g/s	変更しないこと
Air 2 Low	25	火力P2時の排気ファン回転数下限値	g/s	変更しないこと
Air 3 Low	26	火力P3時の排気ファン回転数下限値	g/s	変更しないこと
Air 4 Low	28	火力P4時の排気ファン回転数下限値	g/s	変更しないこと
Air 5 Low	30	火力P5時の排気ファン回転数下限値	g/s	変更しないこと
Air 1 High	26	火力P1時の排気ファン回転数上限値	g/s	変更しないこと
Air 2 High	28	火力P2時の排気ファン回転数上限値	g/s	変更しないこと
Air 3 High	30	火力P3時の排気ファン回転数上限値	g/s	変更しないこと
Air 4 High	32	火力P4時の排気ファン回転数上限値	g/s	変更しないこと
Pasca P1		火力P5時の排気ファン回転数上限値	g/s	変更しないこと
Pascal P1	44	火力P1時のレオナルドシステムの目標値	pascal	変更しないこと
Pascal P2	45	火力P2時のレオナルドシステムの目標値	pascal	変更しないこと
Pascal P3	47	火力P3時のレオナルドシステムの目標値	pascal	変更しないこと

Pascal P4	52	火力P4時のレオナルドシステムの目標値	pascal	変更しないこと
Pascal P5	54	火力P5時のレオナルドシステムの目標値	pascal	
Pascal auto ON/OFF	ON	Pascal autoのON/OFF		
PASCAL CLOCK	20	20秒ごとに燃焼室と周囲との圧力差を読み取ります	secondi	
AC min Pa	40	着火時30秒間の試運転時の(pascal,Pa)の下限值	pascal	この値を下回ると表示「No draft」と表示
AC max Pa	200	着火時30秒間の試運転時の(pascal,Pa)の上限値	pascal	この値を超えると「Init air check」を表示
Timer	On/Off			
Delta Start	15	第一段目点火と第二段目点火の間の移行するΔ温度	°C	
T. Start	90	運転段階(P1,2,3)に切り替わる排気温度	°C	もしスタートボタンを押してから15分以内にこの排気温度に達しない場合アラームが発生します。 Block-FI/No Start
T. Stop	80	消火したとみなす排気温度	°C	
T. Max E	300	最高排気温度	°C	
BOARD T. MAX	60	ストーブは、POWER PL内に配置された上記電子基板上で読み取る温度	°C	POWER PL = 火力P1
Service	2500	販売店の介入を必要とするペレット消費量	Kg	販売店による介入必要
Pellet Kg	-	ペレット消費量	Kg	
Start Ac N°	-	着火回数	N°	
TIME GO P1	-	火力P1での稼働時間	ore	Service CAT 表示時の解除方法 ストーブは消火作業に移行しませんが、メッセージを表示します。これは、使用ペレット量がパラメータSERVICE CAT(es.2500KG)よりも高い場合に発生します。シーズンオフのメンテナンスを行い、+ボタンでコード31を入力しMボタンを押してキロカウンターをリセットしてください。
TIME GO P2	-	火力P2での稼働時間	ore	
TIME GO P3	-	火力P3での稼働時間	ore	
TIME GO P4	-	火力P4での稼働時間	ore	
TIME GO P5	-	火力P5での稼働時間	ore	
CODE CLR TIME	0	コード31を入力してリセット		
1 Wash Timer	60	火力P1時のクリーニングまでの間隔	m	クリーニング時は排気ファンは最大で回転します。
1 Wash Time	5	火力P1時のクリーニング時間	s	
2 Wash Timer	60	火力P2時のクリーニングまでの間隔	m	
2 Wash Time	5	火力P2時のクリーニング時間	s	
3 Wash Timer	45	火力P3時のクリーニングまでの間隔	m	
3 Wash Time	10	火力P3時のクリーニング時間	s	
4 Wash Timer	30	火力P4時のクリーニングまでの間隔	m	
4 Wash Time	15	火力P4時のクリーニング時間	s	
5 Wash Timer	30	火力P5時のクリーニングまでの間隔	m	
5 Wash Time	15	火力P5時のクリーニング時間	s	
Menù Clima	OFF	confort ClimaモードのON/OFF	//	設定室温に達すると消火し現在室温が設定室温より2°C下がると自動着火を繰返し
ADJ TC	10	排気温度センサーの更正	°C	点火失敗の問題を出さないために+ 30 まで上げることが出来ます。もしこのパラメーターが0ならディスプレイに表示される温度が実際の排気温度です。このパラメーターを変更することで実際の排気温度より より高く、またはより低く制御盤に読ませる目的があります。
ADJ TA	0	室温センサーの更正	°C	部屋により精密な温度計があるとすれば、その温度計にストーブの室温度表示が一致するように変更が可能です。
ADJ PASC.	0	圧力値の補正	Pa	変更しないでください
adj t. con.	0	リモコンの温度読み取りの調整	°C	実際のものとは異なる温度を読み取るために使用。リモコンのセンサーと実際の環境差を調整するために増加または減少することができます
LOAD pellet	80	ペレット初期投入量	s	
Ac Final Wash	80	消火時のクリーニング時間	s	

Riserva		ペレットリザーブ機能の有効・無効化		ディスプレイ上に設定された値に基づいてペレットが供給された数値を計算
OFF-TIME		消火時の排気ファン稼働時間	m	
Delta P2		火力切替温度差 (P1→P2)	°C	
Delta P3		火力切替温度差 (P2→P3)	°C	
Delta P4		火力切替温度差 (P3→P4)	°C	
Delta P5		火力切替温度差 (P4→P5)	°C	
BLACK OUT		Stabilisce la modalità di black-out : Ready/Delay/Stop °C. Ready = blocco immediato al ritorno dell'energia elettrica, Delay = blocco solo se g/l estrattore fumi minori di 10 Stop °C = blocco solo se al ritorno energia elettrica temp. fumi minore temp. stop fiamma.		Cambiare in Stop °C se sono frequenti le mancanze di tensione
WARMUP TIME		この時間の後、ウォームアップの段階を終了し、別の段階へ移行	m	
CODICE L		第1信号送信 (同じ範囲内の2つ以上の送信機を変更する)		
CODICE H		第2信号送信 (同じ範囲内の2つ以上の送信機を変更する)		
RADIO res.		無線の自動リセットのON/OFF		OFF: 無数無線周波数干渉が存在した環境で使用されるように設計されています。
MEM CODE IR				
Corrente min.		燃料搬送オーガモーター電流下限値	Enumeric	ALR. LOW CURRENTが発生するようであれば数値を下げてください。
Corrente max.		燃料搬送オーガモーター電流上限値	Enumeric	ALR. HIGH CURRENTが発生するようであれば数値を上げてください。
Eventi cor.		アラームロックを上げるために必要な電流制限外のイベントの数を決定する	N°	30→OFFまで設定可能
Brake time		燃料搬送オーガモーターの電流ブレーキ数値	Enumeric	
Earth quake		地震センサの検出をON/OFF	//	
Quake Time		この時間以上の揺れを感知した場合にEarthquake alarmが発生	secondi	耐震のアラームが発生した場合、通常の消化段階を継続し、消火します